

政策	52 生涯学習の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	・地域の多彩な人材を活かした生涯学習プログラムの充実や、学校・家庭・地域が連携・協働したボランティア活動の展開による社会全体での教育力の向上。						
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設利用者満足度...5年間で98.0%（現状値97.5%） ・各種学級・講座受講者満足度...5年間で98.0%（現状値97.5%） 						
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標1 [%]	予定	97.60	97.70	97.80	97.90	98.00
		実績	97.97	97.37	98.74		
	成果指標2 [%]	予定	97.60	97.70	97.80	97.90	98.00
		実績	96.46	97.60	97.03		
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	9,066,814	9,166,249	9,114,482	0	0	
	実績	9,063,764	9,166,249	9,114,482	0	0	
内部評価	貢献度	基本方針の「健やかに人を育み学び続けられる町づくり」には一生に渡り学び続ける生涯学習の充実が不可欠であるため、本基本施策の目標達成度による貢献度は高い					
	達成状況	社会教育施設利用者満足度は目標値を達成したが、各種学級・講座受講者満足度は目標値を0.71%下回る結果となった					
	課題	施設の老朽化が進む施設が数多くみられるため、市全体の施設見直しの動向を見ながら計画的な改修を行うとともに、講座内容の工夫を行い、満足度を改善する必要がある。					
	取組方針	老朽化施設の計画的な改修を行い、とちぎ未来アシストネット事業を推進し、学校・家庭・地域の連携・協働体制を更に築きながら、さらなる生涯学習の満足度向上を図る。					
外部評価	<p>成果指標の満足度については、施設利用者や講座参加者を対象に調査しているため、高い結果となっている。施設を利用しない方や講座に参加しない方も含めた調査を行い、市民ニーズを把握し、利用したいと思える魅力ある講座や誰でも気軽に参加できる環境の構築に努めてもらいたい。</p> <p>コロナ禍による影響もあると思うが、ボランティア交流会参加者が激減している。原因を分析し、対応策を実施して欲しい。また、アシストネット事業についても認知度向上に努めて欲しい。</p> <p>老朽化した施設が見受けられるので、施設の維持管理にも留意してもらいたい。</p>						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	5201	生涯学習環境の充実				413,139	100
	5202	生涯学習機会の充実				8,701,343	99

基本施策評価表 補表

施策	52 生涯学習の充実		
区分	妥当性	妥当	生き生きと学び、人づくり・まちづくりに参画する生涯学習を推進するため、妥当である。
	コスト削減の余地	無	施設の維持管理や講座開催に係る経費は必要最小限であり、適正な受講料を徴しているため、コスト削減は難しい。
	受益者負担	適正	施設の使用料や各種講座の受講料や講師謝金等を徴していることから適正である。
	上位貢献度	有効	多様なニーズに応じた生涯学習環境の形成や多彩な人材を活かした学習メニューの充実による貢献度が高いと判断した。
	類似事業の有無	無	
	成果向上の余地	有	施設利用者数や各種学級受講者数は伸びており、今後も成果向上の余地があると判断した。
内部評価	貢献度	基本方針の「健やかに人を育み学び続けられる町づくり」には一生に渡り学び続ける生涯学習の充実が不可欠であるため、本基本施策の目標達成度による貢献度は高い	
	達成状況	社会教育施設利用者満足度は、施設毎には約98%～100%であり、目標値を達成できた。 しかし、各種学級・講座受講者満足度は、講座毎に約83%～99%の水準となったが、目標値を0.71%下回る結果となった。	
	課題	老朽化した施設が多くあるため、引き続き、長寿命化や営繕計画等を順次、作成して計画的な改修を進め必要がある。 新型コロナウイルス感染症対策を継続し、安全で安心な講座の開催に努めること。また、多様化する市民ニーズへの講座内容の対応や学びの成果を活かすための機会が必要である。	
	取組方針	市民ニーズの把握に努め、講座の見直し等を行い、幅広い受講者の増を図る。市民にわかり易い情報提供に努め、計画的な広報周知を行う。 老朽化施設は、長寿命化や営繕計画等を作成して、計画的な改修を行う。 とちぎ未来アシストネット事業を推進し、学校・家庭・地域の連携・協働体制を更に築きながら、生涯学習の満足度向上を図る。	